

## 立入禁止表示等で見える化

当現場は、栈橋の補修工事であり、吊り足場上での作業が主体となる。  
また、狭い空間での作業ということで、作業員の施工エリアを確実に区画分けを行い、作業関係者以外の立入により災害が繋がる可能性が高い。  
そこで、立入り禁止表示を強化（テープ、表示、ロープ等）することで、全作業員に立入禁止範囲の見える化を図る。

立入禁止表示として、テープの展張、ロープによる明示、注意喚起標識



栈橋下の狭い空間のため、頭部接触防止も踏まえ、注意喚起明示や支保工端部のクッション設置等

